

答 其中流ヨリ右側ニ當ル方ヲ通行スル様ナシマス

問 汽船狹隘ナル水道ニ通航スルニハ必ズ中流ヨリ右側ヲ添テ航行スベ

キモノデアルカ

答 夫レハ無難ニ通航シ得ルトキトアルニヨリ絶對的右側ヲ通航スベシト

云フモノデアリマセヌ

問 狹隘ノ水道ノ程度ハ如何

答 別ニ規定ハアリマセンガ二湮以下ノ水道ト思ヒマス

問 汽船航行中島嶼岬角等ノ蔭ヨリ突然他ノ汽船現ハレ危險切迫ノ位置ニ

於テ出會シタルトキハ如何ナスカ

答 權利船義務船ヲ論ゼズ衝突ヲ防グニ最モ適切ト確認シタル手段ヲ取ラ

ネバナリマセヌ

問 然ル場合ニ針路ヲ轉ズルトキ他船ニ向テ何カナスコトナキカ

答 第二十八條ニ依リ我針路ヲ右轉スルトキハ汽笛若クバ汽角ヲ以テ短聲

一發左轉スルトキハ二發若シ全速力後退ヲナストキハ三發ヲナシテ航
路ヲ轉ズルコトヲ知ラサネバナリマセヌ

問

第二十八條ノ航路信號ハ危險切迫ノトキニノミナスベキモノナルカ

答

都テ他船ニ近寄り我船ノ針路ヲ轉ズルトキ爲スベキ通知デアリマス

問

航路信號ハ他船ニ近寄り針路ヲ轉ズルトキ必ズナスベキ台圖ナルカ

答

是非トモナスベキ信號デアリマス

問

此ノ航路信號ハ針路ヲ變セントスル前ナスベキモノカ變ジテ後チニナ
スベキモノカ

答

決意着手ノトキニナスベキモノニテ此信號ヲナシタル以上ハ其信號ノ
通り決行スベキモノデアリマス

問

汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第
一着ニ如何ナルコトヲナスカ

答

橋燈ヲ取り入レ全ク運行シ能ハザルトキハ紅燈二個ヲ引揚ゲ若シ帆力

〔汽船ノ出會〕

ニテ進行スルトキハ舷燈ノミヲ點ジ置キマス

問 晝間ナレバ如何ナスカ

答 直徑二尺ノ黒球若クハ黒色ノ形象二個ヲ上下六尺ヲ隔テ連掲シテ表示

シマス

問 帆ヲ用テ運行スル場合ニハ如何ナスカ

答 煙突ヲ引下ゲテ全ク汽力ヲ用ヒザルヲ示シマス

問 若シ其煙突ヲ引下グルコトガ出來ザルトキハ如何ナスカ

答 前方ノ最モ見得易キ處ニ直徑二尺ノ黒球若シクハ黒色ノ形象一個ヲ掲

グ置キマス

問 汽船航通瀬繁ナル海路ヲ通航スルニ際シ風位俄カニ船尾ニ回リタルト

キハ如何ナル警戒ヲナスカ

答 自船ノ煤煙前面ヲ蔽抹シ爲メニ接近シ來ル他船ノ燈光ヲ見誤ル虞アリ

ト思フトキハ狀況ノ許ス限リ針路ヲ少シク安全ナル側ニ轉ジテ進行ス

ル様イタシマス

問 航行中ノ汽船ト「トロール」汽船トノ權利義務ハ如何ニ考フルヤ

答 第九條ハ後ヨリ挿入シタ條項デアツテ船燈ノ規定ノミテ航法ノ規定ハ

アリマセン故其權利義務ハ其線縦ノ難易ヲ判斷シテ汽船ヨリ替スガ至
當ト考ヘマスシカシ「トロール」汽船ト雖モ無理ナル航法ヲ取ラヌ様心掛
ケネバナリマセヌ

問 ソレハ本法ニ違反セザルヤ

答 第二十九條ニアル海員ノ常務即チ常識ノ義務ヲ以テ所置スルノデスカ

ラ違反ニハナリマセン

問 汽船航行中正首以外ニ見タル帆船ニ對シテ其儘針路速力ヲ保チ進航シ

テ差支ナキ場合ヲ述ベヨ

答 兩舷燈ヲ同時ニ見ルトキ彼我同舷或ハ彼我舷燈同色相對スルトキ彼我

舷燈異色相對スルモ其方位著シク變更スルトキ及ビ正横後二點以下ヨ

【汽船ノ出會】

リ自船ヲ追越シ來ルトキハ其儘進行スルナリ

問 汽船ニ對シテハ如何

答 矢張り正首以外ニ兩舷燈ヲ同時ニ見ルトキ彼我同舷相對シ或ハ彼我舷

燈同色相對スルトキ他船ノ右舷ハ我ガ左舷ト對シ或ハ他船ノ綠燈我ガ

紅燈ニ對スルモ並行シタルトキ及ビ正横後二點以外ヨリ我船ヲ追越シ

來ルトキハ其儘懸念ナク進航シマス

問 汽船夜間航行中正首以外ニ方ル如何ナル燈火ニ對シテ警戒ヲ加フベキカ

答 正横前ニ當ル帆船ノ燈火異色相對スルトキ及ビ右舷ニ方リ汽船ノ紅燈

ヲ見ルトキハ警戒ヲ加ヘ其方位變更ヲ確認セザレバ時機ヲ怠タズ本法

ノ規定ヲ適用セネバナリマセヌ

雜問

問 本法ノ規定ヲ適用スベキ至當ノ時機トハ如何ナル場合ヲ指スカ

答 互ニ近寄りテ衝突ノ虞レアル場合衝突ヲ防グニ充分ノ時機デアリマス
問 若シ時機ヲ愆タバ如何ナル責アルヤ

答 本法違犯ニナリマス

問 如何ナル事柄ガ本法違犯デアルカ

答 過失懈怠又ハ不當ノ行爲ニヨリ衝突ヲ惹起シタル場合ヲ申シマス

問 過失トハ如何ナル行爲ヲ云フカ

答 海員タル常識ヲ以テ思慮スレバ普通免レ得ベキ注意ノ缺ケタル行爲ヲ

云フモノデアリマス

問 懈怠トハ如何ナル行爲ヲ云フカ

答 點燈信號又ハ見張其他海員ノ常務又ハ臨機ノ處置ニ必要ナル注意等ノ

應爲義務ヲ怠リタル行爲ヲ申シマス

問 不當行爲トハ如何

答 疎虞怠慢ノ爲メ又ハ故意ニテ本法ニ背戾ノ場合ヲ云フモノデアリマス

問

本法違反ノ責ハ何人ノ負フベキモノナルカ

答

船主及ビ船長場合ニヨリ海員ニ至ルマデ其責ヲ免ルベカラズト本法

問

二十九條ニ規定シテアリマス

答

船主ハ如何ナル責ヲ責フベキカ
船員ノ本法違反ニヨリ惹起シタル加害衝突ノ損害ニ就テハ被害者ニ對シテ補償ノ義務ヲ負ハネバナリマセス

問

船長ニハ如何ナル責罰アルヤ

問

船長ノ過失懈怠不當行為ニ對シテハ海員懲戒法ニ依リ處分ヲ受クル外

答

死傷者アル場合ニハ尙ホ刑法ニ依リ過失殺傷罪ニ問ハレ若シ其行為ノ

問

故意ナルトキハ刑法第四百十五條ノ船舶覆没ノ罪ニ問ハレ無期徒刑死

答

亡者アレバ死刑ニ處セラルベキモノデアリマス
海員ニ對シテハ如何ナル制裁アルカ
免狀ヲ有セザルモノハ海員懲戒法ノ所分ヲ受クルコトガアリマセン

問 兩船衝突ノ場合ニハ加害者ハ必ズ被害者ニ對シテ損害ヲ補償スベキ義務アルベキモノナルカ

答 夫レハ民事上ノ問題ニ涉リマスケレドモ互ニ補償ノ義務ナキ場合ト被害者都テ賠償ノ義務アル場合トアリマス

問 兩者賠償ノ義務ナキ場合トハ如何ナル場合ナルカ

答 天災ノ如キ不可抗力ノ爲メ衝突ノ發生シタル場合デアリマス

問 被害者ニ於テ損害填補ノ義務アル場合ハ如何

答 被害者ノミ過失アリタルトキデアリマス

問 兩者ニ過失アリ其程度判明セザルトキハ如何ニ賠償ノ義務ヲ分擔スルカ

答 商法海商篇ノ規定ニヨリ兩者損害ヲ平分シテ負擔スベキデアリマス

問 兩者ニ過失アリ其程度ニ差アルトキハ如何

答 民法ノ規定ニヨリ裁判所ハ賠償ノ額ヲ定ムルニ斟酌スベキデアリマ

問 衝突損害ハ如何ナル程度マデ辨償ノ義務アルベキカ

答 所有者ニ過失アラザレバ當時ノ船舶運送貨及ビ船舶所有者ノ船舶ニ付有スル債權ヲ悉ク委付スルニ於テハ其責ヲ危ル・コトヲ得マス如何ニ

問 衝突ノ損害ハ何年タツテモ請求シ得ベキモノデアルカ

答 一ケ年ヲ經過スレバ時効ニヨリ消滅シマス

問 衝突ノトキ船長ガ第一着ニナスベキハ如何ナルコトカ

答 兩船引離スモ危険ナキヤ否ヤヲ確認シ危険ナキトキハ速カニ引離シテ自船ノ被リタル損害ノ状態漏水ノ如何ヲ檢スルコトアリマス

問 自船ニ急迫ノ危険ナキトキハ及ブ限リ他船ヲ救助シ又我船名船籍發着港等ヲ通知シテ他船ノ船名船籍發着港等ヲ聞キ取置カネバナリマセン

答 自船ニ急迫ノ危険ナキトキハ及ブ限リ他船ヲ救助シ又我船名船籍發着港等ヲ通知シテ他船ノ船名船籍發着港等ヲ聞キ取置カネバナリマセン

問 若シ救助ヲナサズ船名ヲモ通知セザルトキハ如何ナル制裁アルカ

答 船員法第五十三條ニ依リ處分ヲ受ケネバナリマセン

問 豫防法ノ規定中地方應ノ制定シタル港灣湖川等ニ係ル地方取締規則ト

答 低觸アル場合ハ如何スベキヤ

問 地方長官ニ於テ特ニ制定シタルモノナルトキハ其規則ヲ遵守シテ差支

ヘナキコトハ本法ノ認ムル所デアリマス所謂特別法ハ普通法ニ勝ルノ

効力アルノデアリマス

問 點燈信號ニ就キ例外ノ場合アルカ

答 艦隊列ヲナシテ航行シ又ハ運送船カ軍艦ニ護送セラル、トキ杯ニ用フ

ル列位燈及信號燈ヲ揭示シタリ又ハ政府ノ許可ヲ受ケ登簿公告ノ手續

ヲ經タル識別信號ヲ使用スルハ本法ニ於テ是認シ居ル所デアリマス

問 大阪府水路取締規則中ノ航法ハ如何

答 一 航路及濬筋ニ於テハ其右側ヲ航行スベシ

二 航路及濬筋ニ於テハ他船ト並航スベカラズ

三 航路及濬筋ニ於テ行逢フトキハ互ニ右方ニ避クベシ若シ之ニ依リ

難キ場合ハ上リ船ニ於テ避讓スベシ

四 航路及濬筋ヲ横切ラントスル船舶ハ上リ船又ハ下リ船ニ對シ避讓

スベシ

五 汽艇發動機艇舢舨端艇其他櫓權ヲ以テ航行スル船舶ハ汽船及帆船

ニ對シ避讓スベシ

六 航路ノ屈角埠頭棧橋又ハ碇泊船ニ接シ回航スルトキハ之ヲ右舷ニ

見テ航行スルモノハ小廻リヲ爲シ左舷ニ見テ航行スルモノハ大廻

リヲ爲スベシ

前項ハ之ヲ筏ニ準用ス

開港港則施行規則ニアル航法ハ

汽船防波堤入口ニ於テ出會ノ虞アルトキハ入港船ハ防波堤外ニ於テ出

問

汽船防波堤入口ニ於テ出會ノ虞アルトキハ入港船ハ防波堤外ニ於テ出

航船ノ進路ヲ避クベシ

汽船ハ港界内及港界附近ニ於テハ他船ニ危害ヲ及ボヤザル程度ニ速力

ヲ減ジテ航行スヘシ

帆船ハ港界内ニ於テハ帆ヲ減ジ又ハ曳船ヲ用キテ航行スベシ但シ航路

内横濱港東水堤燈臺及北水堤燈臺附近門司港界内及長崎女神内ニ於テ

ハ縫行スベカラズ

船舶ハ並列シテ航行スベカラズ

航路ヲ横切ラントスル船舶ハ航路ヲ航行スル他船ノ進路ヲ避クベシ

航路ニ於テ行違ヒタル船舶ハ互ニ航路ノ右側ヲ航行スベシ

船舶ハ航路ニ於テ他船ヲ追越スヘカラズ

雜種船ハ汽船及帆船ノ進路ヲ避クベシ

船舶ハ防波堤埠頭又ハ繫留船等ノ一端ヲ右舷ニ見テ通航スルトキハ之

ニ近寄り左舷ニ見テ通航スルトキハ之ニ遠ザカリテ航行スベシ

【雜問】
本章ニ定ムルモノノ外船舶ノ航法ニ關シテハ海上衝突豫防法ノ定ムル所ニ依ル

海上衝突豫防法問答終

遞信省令第三號

◆内海水道航行規則

左ノ通り定ム

昭和四年二月一日

第一條 本令ハ備讚瀬戸、來島海峽及下關海峽ニ於ケル船舶ニ之ヲ適用ス
本令ニ於テ備讚瀬戸、來島海峽及下關海峽トハ左ノ水域ヲ謂フ
備讚瀬戸 男木島燈臺ヨリ豐島ノ南端、大槌島ノ頂、小與島ノ南端、本島シヨケン
ボ鼻及黒鼻、佐柳島ノ南西端、二面島ノ頂、高見島板持鼻、沖ノ洲桂燈浮標、牛島
九五米山ノ頂、三ツ子島燈臺、小瀬居島ノ頂及小槌島ノ頂ヲ經テ男木島ノ南端ニ引
キタル線ニ依リ圍マルル水域
來島海峽 蒼社川口ノ東岸ヨリ大島タケノ鼻ニ引キタル線竝大下島アゴノ鼻ヨリ梶
取鼻及大島宮ノ鼻ニ引キタル線ニ依リ圍マルル水域但シ今治ノ港域ヲ除ク
下關海峽 部崎燈臺ヨリ四十五度(眞方位)二海里ノ點ヨリ部崎燈臺及滿珠島ノ頂ニ
引キタル線、滿珠島ノ頂ヨリ串崎ニ引キタル線竝和合良島ノ頂ヨリ臺場鼻及堺鼻ニ
引キタル線ニ依リ圍マルル水域但門司、下關及若松ノ港域ヲ除ク
第二條 船舶ハ左ノ各號ノ場合ヲ除ク外航路筋ニ於テ碇泊又ハ停留スルコトヲ得ズ

内海水道航行規則

- 一、衝突其ノ他急迫ノ危険ヲ避ケムトスルトキ
 - 二、運轉自由ヲ得ザルトキ
 - 三、人命又ハ船舶ノ救助ニ從事スルトキ
 - 四、海底電信電話線又ハ航路標識ノ工事ニ從事スルトキ
 - 五、水路ノ測量又ハ浚渫作業ニ從事スルトキ
 - 六、所轄官廳ノ許可ヲ得テ難破物又ハ沈没物等ノ引揚其ノ他海中ノ工事ニ從事スルトキ
- 前項第二號乃至第五號ノ船舶畫間ニ於テ航路筋ニ碇泊スルトキハ法令ニ特ニ規定セ
ル場合ヲ除クノ外最見易キ場所ニ黒球又ハ黒色ノ形象一箇ヲ掲グベシ
- 第一項第六號ノ船舶畫間ニ於テ航路筋ニ碇泊スルトキハ最見易キ場所ニ紅色ノ方旗
ヲ掲グベシ
- 前三項ノ規定ハ漁撈中ノ漁船ニハ之ヲ適用セズ但シ備讃瀬戸中小與島ノ南端ヨリ小
瀬居島ノ頂ニ引キタル線以西ノ水域、來島海峽及下關海峽ニ於テハ漁撈中ノ漁船ヨ
リ通航船舶ノ進路ヲ避クルコトヲ要ス
- 第三條 船舶ハ安全ニ替リ行ク餘地ヲ有スル場合ニ非ザレバ他ノ船舶ヲ追越スコトヲ
得ズ
- 汽船他ノ汽船ノ右舷側ヲ航行シテ追越サムトスルトキハ汽笛又ハ汽角ヲ以テ一長聲
ニ引續キ一短聲ヲ、其ノ左舷側ヲ航行シテ追越サムトスルトキハ一長聲ニ引續キ二

短聲ヲ發スベシ

- 第四條 海上衝突豫防法第七條第一項第三號、第四號、同第九條第一項及同第十條第
一項ノ規定ニ依リ臨機ニ表示スルヲ以テ足ル船燈ハ第一條ノ水域航行中ノ船舶ニ限
リ常ニ之ヲ掲ゲ置クベシ
- 第五條 汽船ハ備讃瀬戸ニ於テハ左ノ航法ニ依ルベシ
- 一 島嶼岬角等ノ爲前面ヲ望見スルコト困難ナル場所ニ於テハ其島嶼岬角等ヲ右舷
ニ見ル汽船ハ之ニ近寄り左舷ニ見ル汽船ハ之ニ遠ザカリテ航行スルコト
 - 二 波節岩ハ東行又ハ西行スル汽船ハ之ヲ左舷ニ見テ航行スルコト
- 第六條 汽船ハ來島海峽ニ於テハ左ノ航法ニ依ルベシ
- 一 中水道ハ順潮ノ場合ニ限リ又西水道ハ逆潮ノ場合ニ限リ通航スルコト但シ小島
波止瀆間ノ水道ヲ通航スル汽船ハ順潮ノ場合ト雖西水道ヲ通航スルコトヲ妨ゲ
ズ
 - 二 前號ノ規定ニ依リ中水道ヲ通航スル汽船ハ龍神島、津島及アゴノ鼻ニ近寄り又
西水道ヲ通航スル汽船ハ之ニ遠ザカリテ航行スルコト即チ行逢汽船ニ在リテハ
南流ニ於テ互ニ右舷ヲ北流ニ於テ互ニ左舷ヲ相對シテ航過スルモノトス
 - 三 第一號但書ノ規定ニ該當スル汽船ハ海峽ノ西側（今治港防波堤燈臺、大濱燈臺、
來島白石燈標）ニ近寄りテ航行スルコト
- 中水道又ハ西水道ヲ通航スル汽船ハ轉流時ニ在リテハ一ノ瀬鼻又ハ龍神島ニ並航シ

タルトキヨリ中水道又ハ西水道ヲ通過シ終ル迄汽笛又ハ汽角ヲ以テ數回左ノ信號ヲ爲スベシ

四

中水道通航汽船

一長聲

西水道通航汽船

二長聲

小島波止濱間ノ水道ヲ通航スル汽船ハ來島又ハ龍神島ニ竝航シタルトキヨリ西水道ヲ通過シ終ル迄汽笛又ハ汽角ヲ以テ數回三長聲ヲ發スベシ

第七條 前條ノ潮流ノ流向ニ伴テハ中渡島潮流信號所ノ潮流信號ニ又之ニ依リ離キ場

合ハ水路部刊行ノ潮流表ニ依ルモノトス

第八條 汽船ハ下關海峽ニ於テハ左ノ航法ニ依ルベシ

一 東口ヨリ西行スル汽船ハ火ノ山ノ頂ヨリ薦ヶ集鼻ニ引キタル線ニ達スル前門司崎燈標ヨリ滿珠島ノ頂ニ引キタル線以北ノ水域ニ入ルコト又東口ニ向ケ東行スル汽船ハ下關高燈ヨリ三角山ノ頂ニ引キタル線ニ達スル前門司崎燈標ヨリ巖流島燈臺ニ引キタル線以北ノ水域ニ入ルコト

二 南水道ヨリ西行スル汽船又ハ南水道ニ向ケ東行スル汽船ハ前號ノ規定ニ拘ラズ相互危險ナク通航シ得ル限度ニ於テ出來得ル限り門司崎ニ近寄りテ航行スルコト(若シ門司崎ニ近寄りテ航行シ能ハザルトキハ前號ノ規定ニ依リテ航行スルコト)

三 第一號ノ汽船行途ヒタルトキハ互ニ左舷ヲ相對シテ航過スルコト

四 潮流ニ遡リ早瀬瀬戸(杓ヶ鼻ヨリ下關低燈ニ引キタル線及鷗ヶ鼻ヨリ火ノ山ノ頂ニ引キタル線ニ依リ圍マル水域)ヲ通航スル汽船ハ潮流ノ速度(水路部刊

行潮汐表及下關海峽潮流圖ニ依ル)ヲ超ヘ一時間三海里以上ノ速度ヲ保ツコト

五 下關高燈附近ト山底ノ鼻附近トノ間ニ於テハ航行ニ因リ生ズル波浪ノ爲海難其ノ他ノ事故ヲ生ゼザル程度ノ速度ニテ航行スルコト

帆船ハ早瀬瀬戸ニ於テハ縫航スベカラズ

第九條 船舶ハ船首ヲ回轉スル爲下關海峽ニ於テ投錨スルトキハ晝間ニ在リテハ黒球

又ハ黒色ノ形象一箇ヲ、夜間ニ在リテハ海上衝突豫防法ニ規定スル船燈ニ加ヘテ紅燈一箇ヲ最見易キ場所ニ掲グベシ

第十條 門司港、下關港又ハ若松港ヨリ出港シタル汽船ニシテ下關海峽ノ東口ニ向ケ

航行スルモノハ國際信號旗第一代表旗ノ下ニEヲ、又西口ニ向ケ航行スルモノハ國際信號旗第一代表旗ノ下ニWヲ各下關海峽ノ航路筋ニ入ル迄前檣又ハ其附近ノ最見

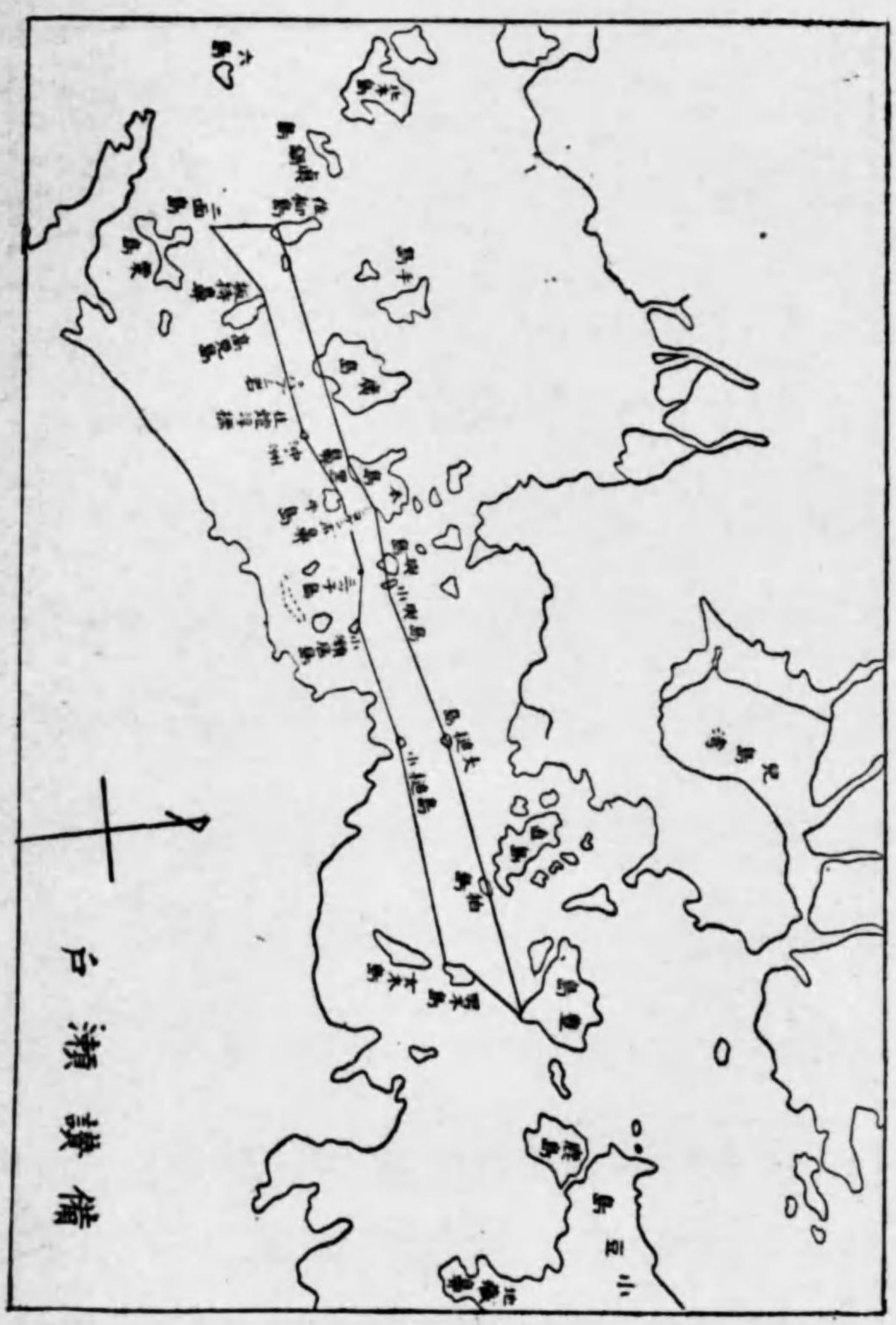
早キ場所ニ掲グベシ、但シ平水航路ヲ航路定限ト爲スモノハ此ノ限ニ在ラズ

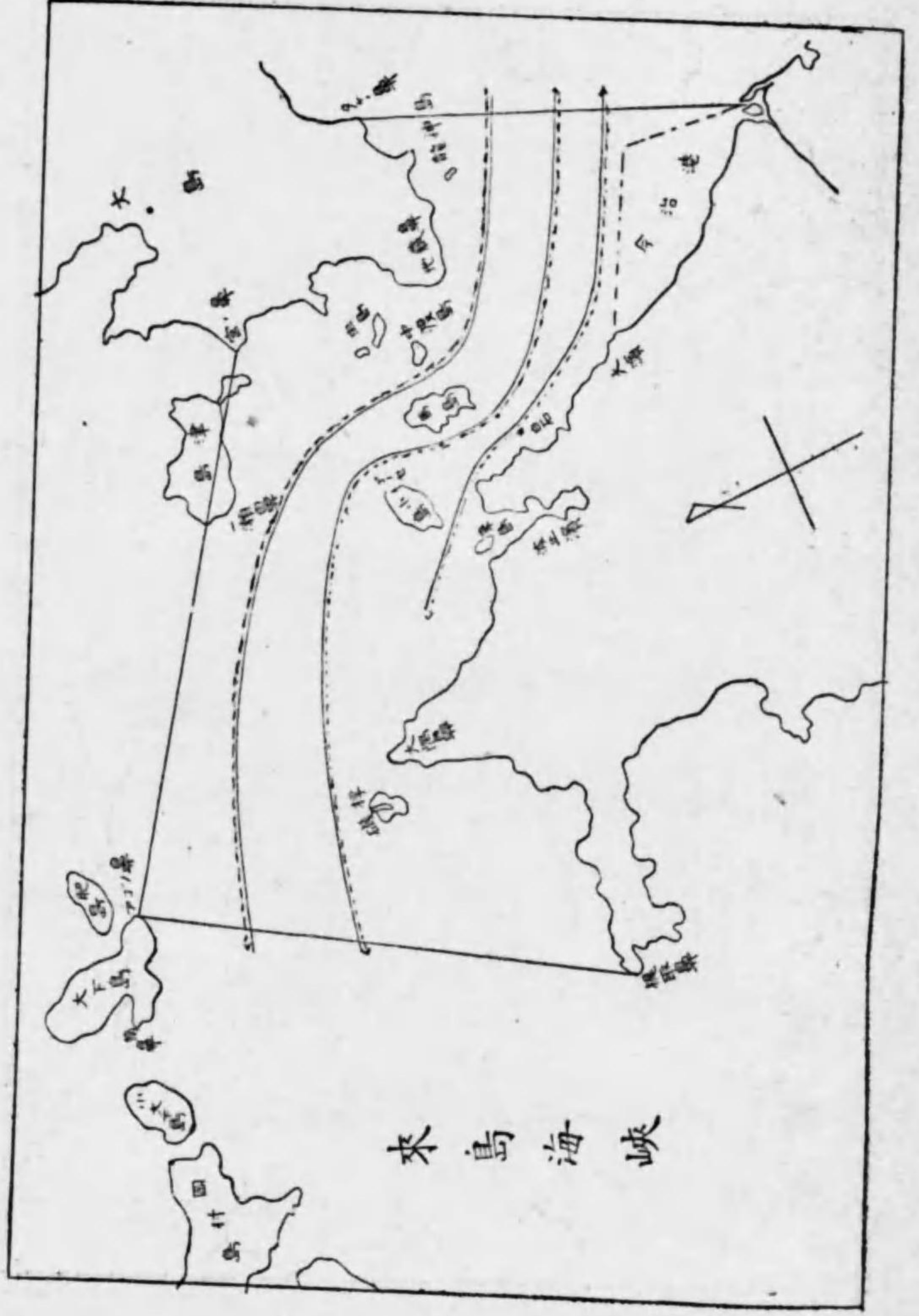
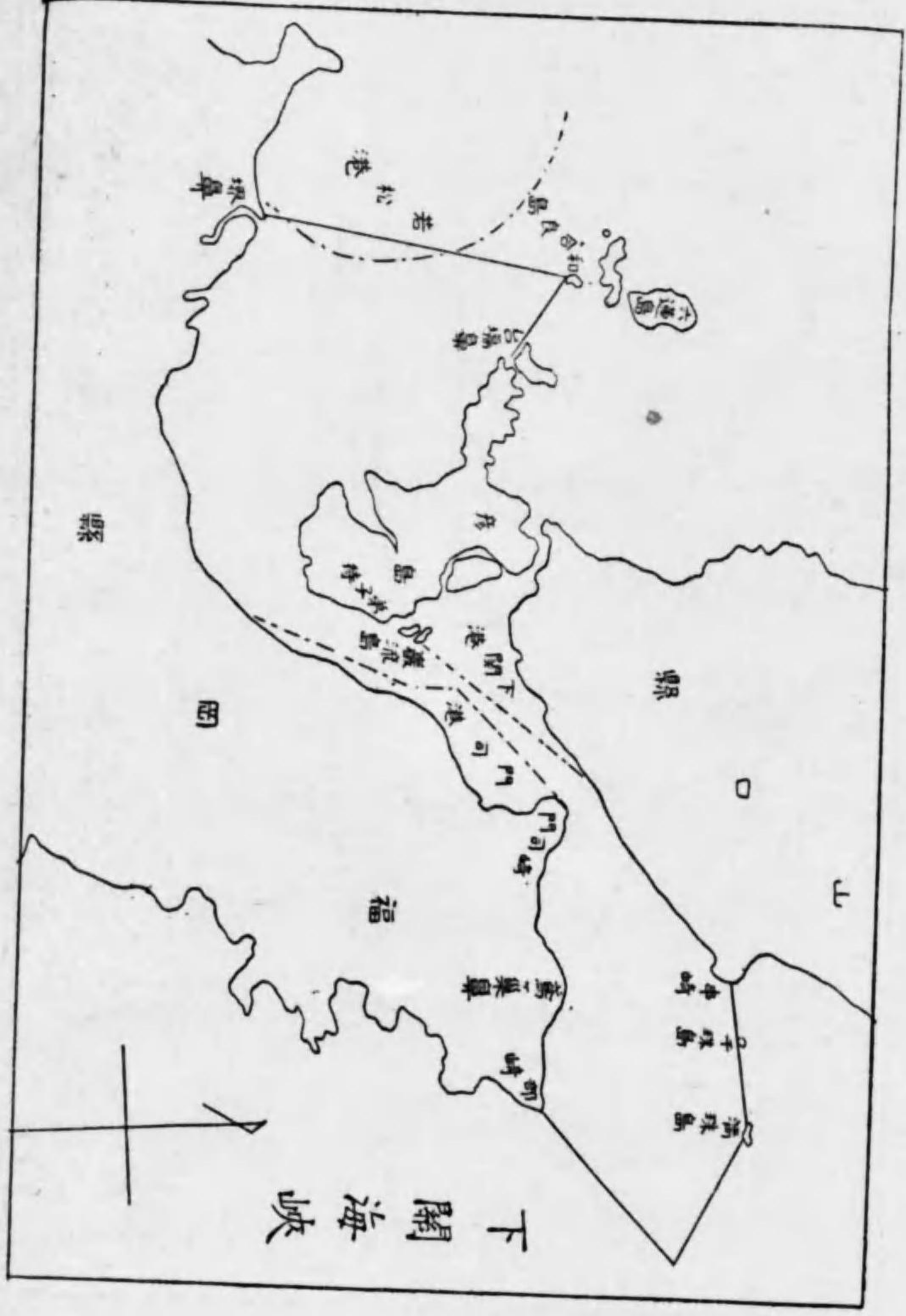
一 門司港ニ入港スルモノニシテ錨地指定ニ關スル特定信號ヲ掲グザルモノ

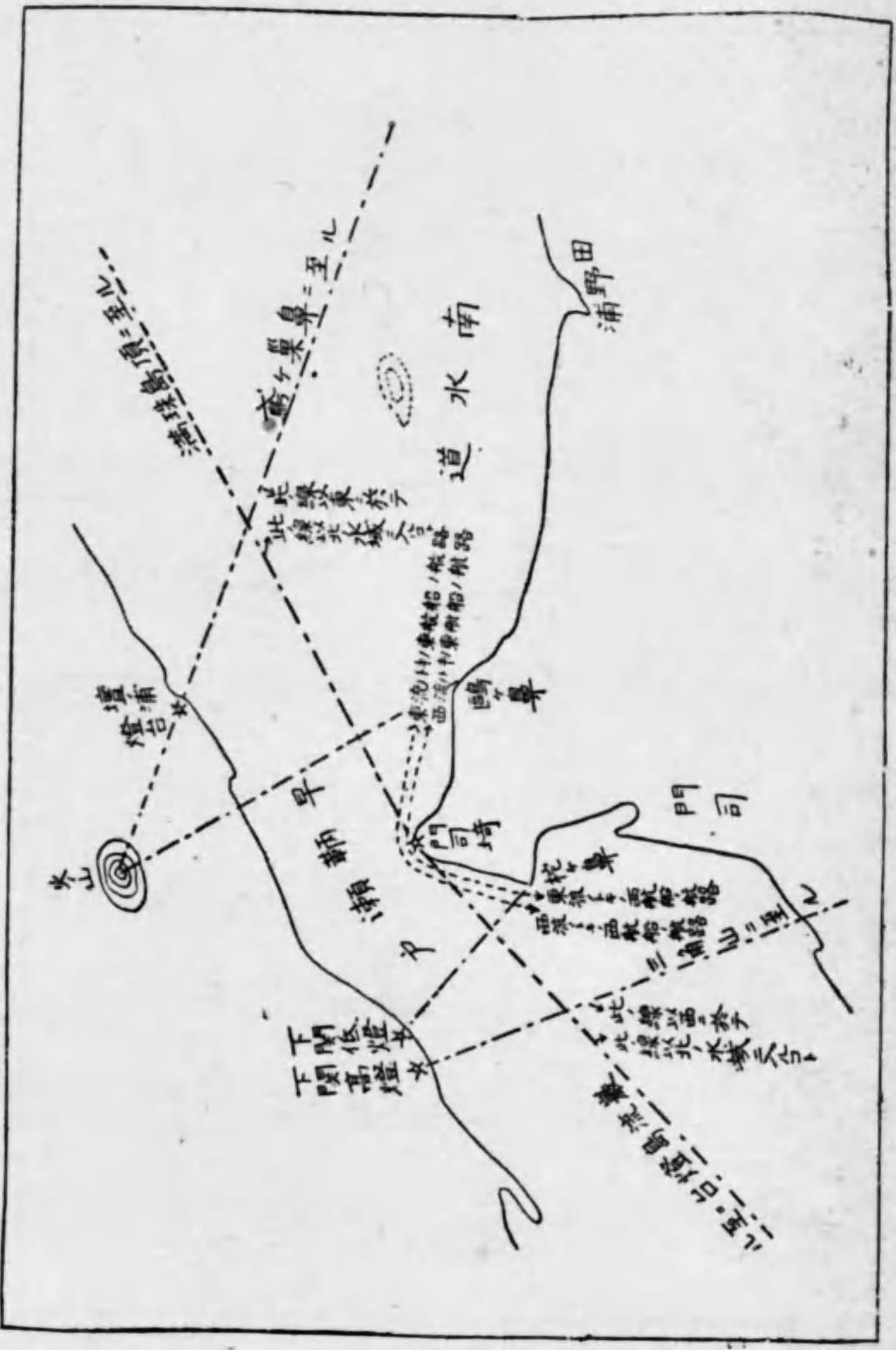
- 壇ノ浦燈臺―山底ノ鼻間 第一代表族ノ下ニM
- 二 下關港ニ入港スルモノ
壇ノ浦燈臺―山底ノ鼻間 第一代表族ノ下ニS
- 三 若松港ニ入港スルモノ
山底ノ鼻―臺場鼻間 第一代表族ノ下ニY

附 則

本令ハ昭和四年七月一日ヨリ之ヲ施ス







明治三十九年七月五日發行
昭和十年七月廿三日四十版

定價六拾錢



發行所 兼 著者 兼 發行所
 印刷者 兼 著者 兼 發行所
 大阪市港區(市岡)市場通一丁目一番地
 大阪市西區京町堀通一丁目十六
 合資會社 日本社印刷所
 大阪市港區市岡市電元町四丁目停留場半丁西
 振替貯金大阪六八二九三番
 電話 西二〇九番

發賣所

大阪市東區南本町四丁目
大阪市港區境川交叉點

三宅莊藏
境川文庫

終

